



ぼらんていあ通信

3月号
通巻 No.448

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2019年3月26日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp

HPアドレス: <http://sagamiva.info/>

新春ボウリング大会開催！

賞品めざし熱戦くり広げられる



去る2月16日(土)恒例のボランティア協会主催新春ボウリング大会が、JR相模原駅に近い相模原パークレインズで9時から開催された。参加者49名(選手29名、介添者20名)。

司会は鈴木秀美さん、受付は障害児者福祉団体連絡協議会の安部さん、ボランティア協会から数名のボランティアさんもお手伝い。始めにボランティア協会会長高橋功さんが「皆さん、朝早くからお集まりいただきありがとうございます。ボウリング大会は今から35年位前1984年に始まりました。パークレインズの江頭さんをはじめ関係者の皆さま参加団体の皆さま、ボランティアの皆さまのご協力に心より感謝いたします。ボウリングを思い切り楽しんでください」と挨拶された。

次にルール説明が平柳さんからあり、最初の5分間は練習時間とし、その後1ゲームだけ採点対象とし、ゲーム終了後10時20分まで自由に楽しんでもらい、10時25分からの閉会式で成績発表が行われるとのこと。いろいろな賞品を用意してあるので精一杯頑張ってください」と激励された。

いよいよ試合開始、あちらこちらでストライク(1回で10本のピンを倒す)が出るたびに拍手が沸きあがり仲間同士ハイタッチして健闘を讃えあっている。事業所単位で毎年参加しているところや家族単位などグループ参加が多い。賞品の内容は、1位から5位、10位、15位、20位、25位、最後から2番目、1位賞、同点の場合はくじ引きで、負けた人が「同ピン賞」となる。また介添えの人にも「介添で賞(選手以外で1番の人)」が用意された。これらの賞品は、大戸行政書士さん



エス電気さんからの寄付(それぞれ1万円)と、参加者からの参加費でほぼ用意することができた。平柳さんがかかわる8年前までは参加賞だけだったが、なるべく多くの人に賞が行き渡るようにと努力し、カップや賞品も障がい者団体や銀河アリーナの売店で購入していると、平柳さんが内実を話してくれた。障がい者の方々の相互扶助にもなっている訳です。

ボウリングサークルのあるすずらの会では、職員3人を含め18名で参加し、入賞をめざし日頃の練習の成果を発揮したいと皆さん張りきっていた。去年10月から事務局員になった田中恵子さんは「初めて参加したが、皆さんが楽しそうにプレーしているのを見て嬉しくなりました。ストレス発散にもなっているようですね」と感想を聞かせてくれた。

社会福祉法人 すずらの会
ワークショップSUN横山さん
よりお礼状をいただきました

昨年に続き、2回目の参加となりましたが、参加者全員とても楽しかったようで、ボウリングの結果や感想などの話題でもり上がっていました。

お礼状からの抜粋です。

*次ページに続く

バザー品の提供のお願い

相模原ボランティア協会では、毎年、市民桜まつりで福祉バザーに参加しています。ご家庭で不要な品が有りましたらご協力をお願いします。

(今年は市民若葉まつり：5月11日、12日)
古着を除き、どのようなものでも結構です。
ご連絡をお待ちしています。



*お問い合わせ

NPO法人相模原ボランティア協会

TEL/FAX 042-759-7982

成績発表 おめでとうございます！
1位 河内崇さん
2位 遠藤充さん
3位 池田弥さん



*1ページからの続き
溝にボールが落ちないようにガードしている。壁にシクザグあたりながらピンをと真ん中に当たったりしてストライクになることもあるから見ているだけでも面白い。車椅子に乗ったままプレーする人は、立ち位置やボールのスピードを自分でコントロールできる俗称滑り台を前において楽しんでいました。
すぐに始められるようにとすべて用意してくれているパークレインズさんに感謝です！

Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

ラジオ体操

小林 加代子



ラジオ体操は90年を迎えた。現在の体操は3代目になる。初代は皇令も軍隊調である。戦後GHQの指導で中止になり、2代目の体操が作られたが、わずか1年で放送中止。
そして昭和26年、27年に現在の第1と第2体操が始まった。音楽が流れると自然に体が動いてしまう。しかし、きちんと教わった記憶はない。

数年前から体操の勉強をしたら、びっくり。何となくやっていたのとは大違い。きちんとやると効果は違う。たった3分10秒の体操だが、うっすら汗もかく。

皆様もどこかで講習会があればぜひとも受講をおすすめします。正しい体操、びっくりますかと思えます。

2019年度役員

立候補者7氏全員の信任を得る

去る3月1日、役員選出管理委員会が2月に
行われた信任投票の開票を行った。結果は立候補者7氏全員の信任を確認した。

会員数115名、投票総数56票、投票率48.7パーセント、無効票0票

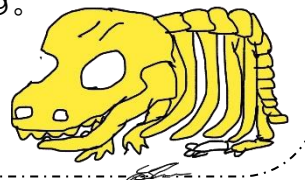
役員選出管理委員会

4月の記念日は？

小倉義男

4月17日、恐竜の日です。

1923年のこの日、アメリカの動物学者ロイ・チャップマン・アンドリュースがゴビ砂漠へ向けて北京を出発したことにちなむ。その後5年間に及ぶ旅行中に、恐竜の卵の化石を世界で初めて発見し、その後の本格的な恐竜研究の始まりになったそうです。



小倉画

切手グループ 活動ボランティア募集

使用済み切手整理のお手伝いです。使用済み切手は貴重なボランティア活動の財源になっています。楽しみながらやってみませんか？(2名程度)
月3〜4回金曜日の午前中です。(切手グループ)
連絡先 相模原ボランティア協会あじさい連絡所
042-759-7982



クイズに挑戦

雑学クイズです。チャレンジしてみましょう！

① 日本の郵便ポストは、昔は赤色ではなかった。
さて何色だったのでしょうか？

ア青 イ茶 ウ黒

② 「子どもの日」が制定されたのはいつでしょうか？

ア日本国憲法が制定された1946年

イ児童福祉法が制定された1947年

ウ祝日法が交付された1948年

③ キリンの平均睡眠時間は？

ア12時間 イ2時間 ウ20分



ボランティヤ活動グループ訪問記

料理講習会 働き世代講座

健康な体は健康な毎日から作られる



2月23日(土)午後7時〜8時半

南区大野台公民館で開催

相模原市食生活改善推進団体「わかな会」開催の「働き世代のための生活習慣病予防スキルアップ事業」の料理講習会です。毎日の食事の支度の参考になればと、私も初めて参加してみました。予定時刻になるとあらかじめ申し込んでいた人たちで調理室は賑やかになってきました。参加者は大人23人で男女半々くらい、就学前らしい子供さんが4人。男性の皆さんはほぼ働き世代の人たちのようです。

四つのテーブルに分かれて作ることに。わかな会の皆さんは胸に「ヘルスメイト」と描かれたお揃いのピンクのエプロンと三角巾のさわやかなスタイル。会長の湯田里子さん、原昭子さん、池谷君子さん、大野みどりさん、中峠直恵さんの5人に教わります。始める前のお話によると、健康な体を作るには野菜を沢山とることが大切で1日分では350g。これは切った野菜の両手いっぱい



わかな会の皆さん

いの量だとか。片手では150gほどでこれは1食分の量に相当するそうです。野菜はとりすぎた塩分を排出する効果もある



り、味噌汁も野菜の沢山入ったものが良いとのこと。モットーは「おいしく たのしく 健康に」だそうです。

4テーブルに分かれて調理することに。調理前の注意として①手をよく洗う。指の間も爪も手首もいねいに洗うこと。②包丁の持ち方。親指と人差し指で包丁の根元をつかみ、のこりの指で柄を握ると安定して扱いやすいとのこと。③計量カップは1杯で200cc。大さじ15ccと小さじ5ccを使う。作る物は「キヤベツとシラスのワンポットパスタ」「豚肉と長いもの西京いため」の2品で材料と調味料はあらかじめテーブルごとに人数分用意されている。

始めてくださいの合図で男性達も何か慣れた手つきで野菜を切り始め、チョットびっくり。さすがに若い世代だなあと感じました。パスタの方はひとつの鍋でスパイスをきかせて茹でながら野菜もいっしょに茹でて、そのまま炒めあげると出来上がりです。豚肉の炒めものは、先に肉に下味をつけておくのでいっしょに炒め合



包丁さばきも手慣れている男性諸氏

わせた野菜も十分おいしくなるのです。簡単に出来ることを実感しました。

盛り付けが終わって皆で和気あいあい、雑談を交えながらいただきました。塩分を少なく調理することが大切なので、少し味がうすい気もしましたが、その分はニンニクや唐辛子などの香辛料を使っことで食べやすく出来ていました。食が終わったところでカップみそ汁に塩分濃度計を入れてみるとやはり高い濃度

を示していました。普段外食の多い人は特にうちでは塩分のうすい食事を心掛けることが大切なのだと実感しました。

後日近く

の小学校で給食をいただける機会があり、ひな祭りにちなみだちらし寿司と煮物、スープ



美味しくできあがり、いただきますあ〜す

を頂きました。やはり塩分はつすめに作っており、改めて家での食事に塩分控えめを意識しなければと感じました。

わかな会では市内の各公民館で生活習慣病予防調理講習会や親子調理講習会などを開催しています。地域のお知らせなどで見かけたら参加してみてください。(小林・植野)

相模原市食生活改善推進団体わかな会

会長 湯田里子

電話 042-754-4822



クイズの答え

- ① はの黒。明治初期に日本初の郵便ポストが設置され、色は黒色でした。
- ② はの祝日法が交付された1948年です。
- ③ はの20分。ライオンなどの肉食動物に襲われないように常に警戒していなければならぬため、長時間は眠らないそうです。



ほっこりな♡ぼらんていあへ
海とトンネル 18

ボランティア演奏をする動機は、ボランティアをしているかたの演奏を聴いたり、お世話になる機会があり、自分達もボランティア演奏をして、少しでも恩返ししたいと思い、平成27年5月に活動を始めました。

小田急相模原の雑貨屋エルトピートでの初ライブから始まり、新宿のライブバー、「湘南台お楽しみ市」での路上ライブ、秦野のレコード店でのランチコンサートなど。障がい者施設での演奏、病院、保育園、デイサービスでの演奏など多数。昨年は初企画ライブ「団欒ライブ」を決行、レコーディングもしました。

「海とトンネル」この名前の由来は、トンネルをぬけたら「おだやかで優しい海」が広がっていた」というイメージを表した名前です。一緒に歌い、楽しく過ごす事で、そのような穏やかで優しい気分になっていただけばうれしく思います。

さて、いざ、ボランティア演奏をさせていただく為に訪問しますと、始まる前に歌詞カードを見ながら、始まるのを心待ちにして下さるような皆様の表情にたくさん出会うことができました。とてもうれしい想いと気が引き締まる想いを感じました。

そして、拙い演奏ではありますが、一緒に歌い、手遊びや、ちょっとしたアトラクションをすることで、私たち自身、とても楽しく、終わった頃には穏やかで優しい気



萩原さん

阿達さん

持ちをいただくことができたと、思っています。ボランティア活動をする事ができて、感謝の気持ちを持っています。私達の演奏を聴いて頂き、利用者の皆様、スタッフのみなさまと一緒に歌わせていただき、心温まる時間を過ごすことが出来ます。嬉しい気持ちでいっぱいです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

『海とトンネル』への出演のご依頼は中央ボランティアセンター
☎ 042-786-6181 を通してお願いいたします ☆(^_^)☆

地域密着型通所介護というのはご存知でしょうか。一般的にデイサービスと言われる介護施設形態の一つですが、地域密着型通所介護は定員 18 名以下のデイサービスとなり原則相模原市在住の方のみがご利用できる施設となっています。

(株)あんじゅうが運営するデイサービスは
○南区相武台〈あんじゅうの村〉
○緑区下九沢〈あんじゅうの村あるく〉
の 2 か所です。どちらの施設も定員は 10 名以下のデイサービスです。

【介護】と聞いてどんなイメージをされるでしょうか？私たちデイサービスでは【介護】という概念は存在しません。人と人の関わり、その方とどう関わるかが大事と考え日々励んでいます。

多くの介護施設は事故予防と法令順守に偏った体制になってしまっていると考えます。転倒させないために行動を制限する、介護保険制度の法令順守の書類整備、事務仕事に追われている。一例ですが良くある光景です。事故予防と法令順守、どちらも介護施設を運営する上で絶対に必要です。ですが、バランスが大事だと考えます。

心と心の通い合い、と良く言われますが、心の動きに重きを置き、その方との関わり方を考え、一緒に楽しんでいるのが私たちのデイサービスです。

今後とも宜しくお願い致します。



安重 政則さん

相模原市で活躍する会社紹介



歩行訓練特化型デイサービス
株式会社 あんじゅう

法人名 株式会社あんじゅう
代表取締役 ^{あんじゅう まさのり} 安重 政則さん (37歳)
〒252-0324 南区相武台 1-10-24

☆あんじゅうの村

デイサービス定員 10 名
住所 相模原市南区相武台 2-25-10
TEL 046-298-0123

☆あんじゅうの村あるく

デイサービス定員 10 名
住所 相模原市緑区下九沢 649-7
TEL 042-703-9271

事業内容
・デイサービス

イベント情報

視覚障がい援助ボランティア入門講座

日時：五月十日(金)～三十一日(金)

毎週金曜日午後一時半～午後三時半

場所：神奈川県ライトセンター

(横浜市旭区二俣川一の八十の二)

内容：

視覚障がい者の状況、ライトセンター事業について、点字の概要、視覚障がい者への接し方、視覚障がい援助ボランティア活動についてなど

定員：六十名(最小催行五名)

申込：

「第2回視覚障がい援助ボランティア入門講座希望」と明記のうえ、

①住所 ②氏名(フリガナ) ③電話番号

④年齢を記入し、

FAX・メール・往復ハガキのいずれか

の方法で申し込み。

FAX：045・364・0027

メール：kouza@kanagawaalc.org

住所：〒241-8585 横浜市旭区二俣川

一の八十の二神奈川県ライトセンター

情報提供課 講座担当あて

問合せ先：

神奈川県ライトセンター情報提供課

講座担当

電話：045・364・0024

こども家族早期発達支援学会認定
発達サポーター講座(基礎a)

日時：四月六日(土) 午後二時～四時

場所：総合学習センター

(中央区中央三の十二の十)

内容：障がい特性の理解(高機能自閉症、

アスペルガー症候群の支援方法)

講師：星山麻木氏

ほしやまあさき

参加費：二千五百円(当日受付にて支払い)

申込：電話・メール・

LINE公式アカウントから、

電話：090・2320・5409

メール：rainbows.sagam@gmail.com

LINE：

QRコードを読み取り

問合せ先：れいんぼうず

代表 村崎 幸恵

(090・2320・5409)



ボランティア協会4月の予定

日	時間	内容
3(水)	13時半	定例理事会
11(木)		黄色いレシート キャンペーン
13(土)	10時 13時	H.C委員会 事務局委員会
16(火)	19時	ほかふれ 実行委員会
17(水)	13時半	臨時理事会
20(土)	10時	わくわく印刷
22(月)	13時	ぼら通印刷
23(火)	13時	ぼら通発送

総会は5月19日14時から、あじさい会館3階研修室での開催です。

理事会報告

三月六日(水)十三時半から(理事七名出席)

一、報告事項

◆広報

・わくわく2016春号は、四月二十日発行予定。
わくわくに関するアンケート用紙を添付する。

◆ハンディキャップ委員会

・H.Cポイント制実施の通知を行った。

・十号車更新のための日本財団への補助金申請を
来年度も行うこととした。

◆事務局委員会

・正会員登録更新と利用会員登録更新案内を発送
し、現在受付中。

・H.C利用会員に対し、バザー品提供協力依頼と
九連休中の受付業務協力依頼を通知した

・九連休中の事務業務取扱については、受付状況
を見て検討する。

◆講座検討委員会

・来年度基礎講座は、七月六、十三、二十日に
開催を決定。

二、審議事項

・通常総会関係議案書の資料作成について審議し
た。監査日を四月二十日に決定した。

・H.C運転ボラの定年者に対する感謝状贈呈制度
を決定した。

・H.C用カーナビ(十一号車用)

・ドライブレコーダー(十・十一号車用)を今年
度中に購入することを決定。

・新役員予定者との顔合わせを五月一～六日の間
で実施することを検討する。

次回の理事会 四月三日(水)

市社協事業紹介 (その12)

桜の開花宣言も各地で聞かれています。皆様いかがお過ごしでしょうか？花粉症のある方にはつらい季節ですね。あとひと月、ゴールデンウィークまでがピークだと思えますが、どうぞご自愛いただきたいと思います。

さて、「みんなで支え合い 地域の力が育む 人になやしいまち さがみはら」のスローガンのもと、市社協の活動や歴史などを紹介しておりますが、今号では市社協が市民福祉活動を支援するために事業化している「助成金」制度について触れたいと思います。

助成金の財源は？

市社協の活動財源は大きく二つに分かれます。一つは市、県などからの補助金や委託金。これらは使途に指定があり、それぞれ特定の事業に当てられるものです。

もう一つは市民の皆様から寄せられる賛助会費や寄付金。さらに共同募金や自販機の収益金などを合わせて自主事業に充当しています。

市民福祉活動支援のための助成金は、後段の市民の皆様から寄せられる寄付金などの財源を充てており、「市民福祉活動を市民の力で支援する」ということです。

地区社協による地域福祉基盤の整備

皆様の地区には地区社協、自治会、民生委員児童委員協議会など、地縁関係を中心とし

た基盤団体が構成されていますが、市社協はこれらの団体の協力により財政基盤を確保し、市域規模の福祉事業を進めています。一方で市民の皆様は生活基盤は二十二地区にあり、更に自治会単位などの小地域のつながりが重要なセーフティネットとなっています。

ここでは各種のサロンや見守り活動、更にはボランティアによる個別の支援活動が展開されていますが、その財源は市社協から地区社協に助成金という形で補助されています。市社協が地区社協等の協力により集めた財源が、目的をもって再配分され、各地区で地域福祉事業として展開されています。さらに市社協の福祉事業や行政サービスが重なることにより、重層的な福祉支援が必要な人に届くようになります。

今日的な課題解決に向けて

ここ数年、生活困窮等による福祉課題が取りざたされていますが、こうした福祉課題は個別対応が求められることが多く、ピンポイントな支援事業が必要になっています。サロンのような交流型事業ではなじみにくく、より福祉的な視点を重視した事業展開が求められます。

一例を上げれば「無料学習支援」や「就労支援」などであり、目的を明確にした、比較的小規模な事業展開が必要であり、本市内でも多くの団体がこうした活動の展開を始めています。

市社協ではこうした活動を支援するため、現在三つの助成金を用意しています。(いわば三本の矢

とても言いましょうか。)

○一つ目は「子ども健やか育成事業」。子ども食堂や無料学習塾等の子ども居場所活動や、学校生活に必要な資器材の提供など、生活困窮などによる子どもの福祉課題に取り組む団体が対象です。

○二つ目は「生活困窮者支援団体応援事業」。ひきこもりや生活困窮者の社会参加の場づくりや、フードバンク等に取り組む団体を支援することとしています。

○三つ目は「市民活動応援事業」。市域や区域を活動範囲にして、高齢者や障がいのある方の福祉課題に取り組む団体や、当事者団体の活動を支援することとしています。(ただしサークル的活動は除きます)

目指すもの!!

福祉課題の解決は、その内容によって求められる対応の手法や団体の規模が変わってきます。また必要な資材や財源規模も変わってくるため、十年前の助成制度では対応できない場合も見られます。私たちは自分から価値観や考え方を変えていくことに抵抗を感じがちですが、社会環境や状況にに応じて、柔軟で効果的な支援策が構築できるよう、常に勉強し、柔らかな心を持つことが求められています。

市社協 田所

会員のひろば

様々なボランティア活動を
なされている会員の皆さまに、
その活動の紹介や経験したこ
となどを語っていただくコー
ナースです。

ドライバーの高齢化に対応するために

福島 淳

ドライバーの高齢化に対応するために
自動運転の必要性がうたわれておりま
すね。まだ実用化までにはいたっておりま
せんが販売されるまでに用意しなければな
らないものが購入資金、お金ですね。

自分の周囲を見ていると私は少し特殊
なようですが、私は自分の会社を通して外
貨預金をしております。会社は海外の高金
利でほぼ成り立っております。

これらをふまえて提案したいことがボ
ランティアの外貨基金設置です。

「ボランティアにならないのでは」とか
「法的な問題点」など諸問題があると思
いますが、自動運転、正に自動車の購入の必
要性が高まっております。

このことは、あらためて言う必要性がな
かったかもしれませんが。



身体障がい者のチアリーディングチーム(パラチア) 笑顔で奮闘

相模原の4人チーム フロとの競演果たす

ほかほかふれあいフェスタでも
参加いただいています！

ほかほかふれあいフェスタの広場ステージで、毎年、華麗なるパフォー
マンスを披露していただいている「スピッツェン・パフォーマンス」
の『チャレンジドチア(障がいのある子どもたちを対象としたチアリー
ディングチーム)』。同じ「スピッツェン・パフォーマンス」のチアリー
ディングチーム『パラチア(視覚障害や聴覚障害、肢体不自由、内部障
害など身体障害がある方を対象としたチアリーディングチーム)』が、
フロと初めて競演しました。毎日新聞2月18日(月)夕刊に掲載され
ていましたのでご紹介します。

身体障がい者のチアリーディング(パラチア)チームが、女子バスケットボールトップリーグ「Wリーグ」のハーフタイムショーでフロのチアリーディングと初めて競演した。
チアは将来、パラリンピックに採用される可能性もあり、関係者は「パラチアの裾野を広げたい」と意気込んでいる。
フロと競演したのは、相模原市のNPO法人「スピッツェン・パフォーマンス」のパラチアチームの4人。2月2日(土)、東京羽田ヴィッキーズVSアイシンAW戦のハーフタイムに、プロフェッショナルチアリーディング協会のチアリーダー10人とともに演技を披露した。自立歩行はできるが下肢などが不自由な2人と車椅子の2人が軽快な音楽に合わせ踊り、最後は笑顔でポーズを決めた。
トレーナー派遣や運動教室などを行っている「スピッツェン・パフォーマンス」が障がい者チームを作ったのは2016年4月。

代表理事の多田久剛ただひさよしさんが米国のチアの世界大会で障がいのある子供が元気に演技する姿を見て「日本でも」と考えたのがきっかけだった。チームは週1回、神奈川県内の施設で練習している。メンバーは集団行動が苦手だったり、脳性まひなどの影響で手や足が不自由だったりするが、インストラクターが障がいに応じて演技を構成。毎年3月に千葉・幕張で開催されるチアの全国大会で披露している。

今年もほかほかふれあいフェスタは開催予定です。チャレンジドチアの演技が楽しみですね。

＊「チャレンジドチア」「パラチア」はNPO法人スピッツェン・パフォーマンスの商標登録です。





ボランティアさん募集！

精神障がいのある方の支援

内 容 精神障がいのある方が集うスペースの運営サポート等
日 時 土・日曜日（第2土曜除く）午前10時～午後2時の間で活動可能な時間帯
場 所 ほっとハウス（中央区横山台1-8-17-202）

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181



相模原市民若葉まつりに参加しませんか？

ボランティア募集！

内 容 ①パレード参加（5月12日）
②福祉ゾーンバザーやボラ協コーナーの運営のお手伝い。
日 時 5月11日（土）～5月12日（日）
ご都合のよい日・時間帯に2時間～
場 所 市役所周辺の若葉まつり会場内



《今月のイラスト
…卒業の春ですね》

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

＜2月の寄付者ご芳名＞

大戸行政書士事務所様 有限会社ユーエス電気様
切手グループ様

その他7名の皆様からご寄付をいただきました。

＜2月の寄付金＞

総額 186,500円でした。

お早めに

会員登録のお願い（再掲）

来年度の会員登録が二月一日から始まりました。引き続き会員登録の更新をよろしくお願いいたします。

あじさい連絡所または郵便振込で更新の手続きができます。ご住所等登録内容に変更のある方は併せてご連絡下さい。

事務局

編集後記



フレディの誕生日祝いにバルサラ家を訪れたメアリーに同行した父親は聴覚障がいがあり、手話を使いメアリーが通訳する。メアリーを困らせるジョークをささやいたフレディに「父は読唇術もできるのよ」とたしなめられ赤面するフレディ。映画「ボヘミアンソフディ」のワンシーンです。

読唇術（読話）ってとても習得が難しい技術だそうです。スパイ映画の様にはいかないみたい。

（小）

訃報

2007～2013年に理事を歴任、その後も今年2月まで「新春ボウリング大会」の推進者として活躍された平柳眞一さんが過日ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りします。